

(様式2)

議長	局長	課長	補佐	係長	係
森田	谷山	迫田	本村	中西	松元



平成元年9月14日

始良市議会議長 様

会 派 名 公明党始良市議団
代表者氏名 竹下 日出志

調 査 研 究 報 告 書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程
平成元年8月22日(木)から8月22日(木)
- 2 場所
南さつま市役所(鹿児島県南さつま市加世田川畑2648)
- 3 目的
健康モデル都市プロジェクト事業の調査
- 4 該当する政務活動費の用途項目
調査研究費(交通費)
- 5 支出経費の内訳と金額
4,000円(旅費:レンタカー代、高速料金代、燃料費)
※市政クラブ始輝と合同研修のため按分。合計28,004円のうち4,000円
領収書等は、市政クラブ始輝の書類へ添付
- 6 参加議員名
新福愛子
- 7 活動成果の概要、所見
別添
- 8 成果物、資料等

南さつま市研修費用計算書

レンタカー代	¥23,220
ガソリン代	¥2,884
高速代 始良～鹿児島往復	¥1,260
高速代 山田料金所往復	¥640
合計	¥28,004
案分1/ 7	¥4,000

領 収 証

No. R 628548

入金日 元 年 8 月 11 日

市政クラブ給 贈

殿

金額	千	円
42,854	8	0

上記の通り確に領収いたしました。

但し レンタル料・ガソリン代・その他()

予約・貸渡No. 6273982

登録No. 2118

	金	額	内	訳
現金	42,854	80		
小切手				
手形				
振込				
相殺				
クレジット				

本領収証に社印、或は金額訂正したもの、複写でないものは無効とします。

収 入

印 紙

トヨタレンタリース 鹿児島

〒891-0115 鹿児島市東開町5番地5 TEL 268-0100 FAX 267-5600

保 印

- | | |
|--|---|
| ☐ 東 開 店 (099) 268-0100 | ☐ 指 宿 駅 前 店 (0993) 26-3600 |
| ☐ 与 次 郎 店 (099) 258-0100 | ☐ 名 瀬 店 (0997) 54-0100 |
| ☐ 鹿児島中央駅店 (099) 250-0100 | ☐ 奄 美 空 港 店 (0997) 63-0100 |
| ☐ 新幹線鹿児島中央駅西口店 (099) 285-0100 | ☐ 種子島空港店 (0997) 27-7077 |
| ☐ い づ る 店 (099) 222-0100 | ☐ 西 之 表 港 店 (0997) 23-3211 |
| ☐ 鹿児島空港店 (0995) 58-2306 | ☐ 屋 久 島 店 (0997) 42-2000 |
| ☐ 国 分 駅 前 店 (0995) 46-0100 | ☐ 屋久島空港店 (0997) 43-5180 |
| ☐ 始 良 店 (0995) 65-0100 | ☐ 和 泊 店 (0997) 92-0521 |
| ☐ 川 内 駅 前 店 (0996) 25-0100 | ☐ 沖永良部空港店 (0997) 92-2100 |
| ☐ 出 水 店 (0996) 63-1300 | ☐ 徳之島空港店 (0997) 85-5089 |
| ☐ 鹿 屋 店 (0994) 42-0100 | ☐ 亀 津 港 店 (0997) 82-0900 |

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 鹿児島本線

TEL 099-243-8131
高速道路は便利でお得なETC
あなたもETCをつけてみませんか！

19年 8月22日11時06分

車種 普通

通行料金 ￥630-

(現金)

一入口料金所 始良

道路損壊や故障車、落下物を発見したら、
道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい
西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20
取扱番号211-00161058-00

ご利用ありがとうございます。

鹿児島県道路公社

料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 山田

(099) 265-3111

19年 8月22日11時16分

車種 普通

通行料金 ￥320-

(現金)

鹿児島県道路公社

鹿児島県鹿児島市山田町2987

取扱番号4903-03-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 始良

TEL 0995-66-2808
高速道路は便利でお得なETC
あなたもETCをつけてみませんか！

19年 8月22日16時18分

車種 普通

通行料金 ￥630

(現金)

一入口料金所 鹿児島本線

道路損壊や故障車、落下物を発見したら、
道路緊急ダイヤル#9910へご連絡下さい
西日本高速道路株式会社

大阪府大阪市北区堂島1-6-20
取扱番号212-00411610-00

ご利用ありがとうございます。

鹿児島県道路公社

料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 山田

(099) 265-3111

19年 8月22日16時00分

車種 普通

通行料金 ￥320

(現金)

鹿児島県道路公社

鹿児島県鹿児島市山田町2987

取扱番号4908-08-00

領 収 証

様 令和元年 8 月 22 日

★ 42,884 -

但 ガソリン代として

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

〒899-5421 鹿児島県始良市東餅田1732-1

有限会社 恒 森 不

代表取締役 恒 森 竜

TEL 0995-65-

○行程表

8月22日（木）

始良市役所発 10:00 → 南さつま市役所着 13:00

研修（13:30～15:00）

南さつま市役所発 15:15 → 始良市役所着 17:15

7 活動成果の概要、所見

【調査内容】

健康モデル都市プロジェクト事業について調査

【調査項目】 南さつま市「健康モデル都市プロジェクト」事業

事業名	「体験型健康医学教室」による「南さつま市健康のまちづくり」	担当部課名	保険課 地域健康係
補助事業名	経済産業省健康寿命延伸産業創出推進事業	事業開始年度	平成29年度
体験型医学教室に取り組むことになった経緯	（１） 市政10周年を機に健康元気都市を宣言し、健康づくりに取り組んだ （２） 市民の健康づくりに対する意識が高い （３） 健康まちづくり戦略会議や百寿など、地域版協議会が存在し、官民のネットワークがある		
取組の経緯	○ 平成27年11月に「健幸ふれ愛フェスタ」で講演会開催 （１）「ヘルスケアビジネスの創出にむけて」経済産業省地域経済部新産業戦略課 （２）「何歳からでも体は作りかえられる」抗加齢医学専門医 山下積徳氏 ○ 上記講演について市民の反響が大きく、平成28年2月～3月に健康リーダー育成講座として教室実施 ・契約先：（株）True Balance （代表取締役 山下積徳） ・市予算：2,000,000 教室は8回、35人程度 ○ 経済産業省健康寿命延伸産業創出推進事業にTrue Balanceが応募、7月に「体験型健康医学教室」による「南さつま市健康のまちづくり」が採択される。これにより以下の事業を実施する ① 平成28年8月～60代62名を対象に体験型健康医学教室 ② 平成28年10月～70代57名を対象に教室 ③ 平成28年8月～一般企業、ヘルスケア企業を対象に教室 教室は8回コース、いずれも午前午後の2回 以上3回経産省の事業で実施 さらに市の事業として、平成29年2月、8回コースを実施 市予算：2,000,000円・30人 ○ 平成29年度は、健康教室として実施 市予算：2,000,000円		

	○ 30年度も健康教室として実施 ○ 令和元年度は、特定健診受診者で特定保健指導が必要とされる方を中心に実施予定
今後の方向性	・平成30年度までは健康づくり推進員など健康づくりのリーダーとなる方々を対象として実施し、受講者の健康意識の向上につながった。 　　今後は、受講者のフォローを含め、地域への波及効果やリーダーとしての活躍の場の検討を行いたい ・令和元年度は、特定保健指導者を中心に健康教室を実施することから、その結果を踏まえ、今後の対象のあり方や教室の取り組み方針を検討予定としている

所見

○ 研修を担当されたのは保健課地域健康係の職員で保健師の方々であった。それだけに専門的知見にたった事業の推進や、市民一人ひとりをしっかりとみているというあたたかさを感じた。

南さつま市では脳血管疾患・SMRが男女共に高い傾向にあり、その原因については明確ではないということであった。高齢化率・介護認定率も22,48%と高い。年間の出生数は、220人と少子高齢化の波への危機感が強かった。

そうした市の課題を逆手に取り、元々あった健康まちづくり戦略会議や百寿など、地域版協議会が存在し、官民のネットワークという市の宝を活かしながら、市政10周年に「健康元気都市宣言」をされたこと。そして今事業に取り組まれたことに、地に足をつけた南さつま市のまちづくりを見る思いであった。

○ 市民が健康について学び・理解し・実践する中で健康づくりの意識を大きく変え、生活習慣等を見直すきっかけとなり、学んだことを継続し実践することで「自分の健康は自分で守る」という理念が受講された市民一人ひとりに定着し、まちづくりへと連動していることも確認できた。

○ 経産省の補助事業は終えたが、確実に取り組んでこられたリーダー育成が、今後さらに地域を中心に市全体に広がっていく流れを感じた。

「心・体・命」といった全人的視点から「どうすれば市民の健康を維持できるのか」といった問いを持ち続け、教室の内容にも県事業でアロマを導入されるなど、新しい取組にも挑戦しながら事業を進化させておられることも高く評価したい。

○ 来年、何をもって市政10周年を迎えるか。

市政10周年に「健康元気都市宣言」をされた南さつま市の先進事例は、日置市の事例と共に、本市にとっての羅針盤になることを痛感した。

健康寿命の延伸は、市民一人ひとりの願いであり、自治体としての責務と課題である。研修を終え、心身両面での健康の保持と増進を図りながら「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を目指す取組を提言できたらと思った。